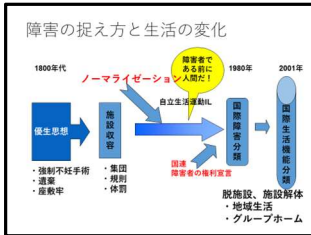


学校（ 福祉系高校 ） 担当教科（福祉）氏名 （崎浜 秀治）

授業タイトル：障がいの理解

達成が期待される SDGs（○をつけてください）



実施時間	50分	対象学年	1～3学年
単元名 (教科書会社等)	第3章 障害者の生活と支援 (実教出版)		
【SDGsの視点を入れた単元づくりについて】 11-2・11-3 本単元を通して、障がいのある人、お年寄りなど、弱い立場にある人びとが必要としていることを生徒が考えるきっかけとなり、持続可能な交通手段に対する問題意識を持つように促す。また、だれも取り残さない持続可能なまちづくりをすすめるため、だれもが参加できる形で持続可能なまちづくりを計画し実行できるような能力を高める。			
時間	授業の流れ・内容(写真可)	ねらい	教材/教具/留意点
導入 (7分)	私が考える「障がい」とは 生徒たちがイメージしている「障がい」について意見を出し合う。 障害者基本法より定義を確認する。	「障がい」の概念について理解する。	スライド ワークシート
展開 (35分)	身近な問題から「障がい」について考える。 障害のモデル (個人モデル・社会モデル・生活モデル)  当事者が「障がい」について語る。 演題『生きる喜び』 生徒たちと当事者との意見交換（質疑応答）	「障がい」のモデルについて理解する。 障がいの変遷について理解する。 当事者の話を聴くことで「障がい」について理解を深める。	スライド ワークシート
まとめ (8分)	「障がい」のある人など、弱い立場にある人びとが必要としていることを考え、持続可能なまちづくりにつなげる。	障がい者のニーズを把握し、私たちができる具体的な支援について考えることができる。	

使用した教材

スライド・ワークシート